

▼ 演習問題レポート作成時の注意点

2011/4/2西谷案

- 演習問題のレポートは、○が多いかどうかを評価しません。ちゃんとやっているかの確認、記憶に定着する、後の学習を効率化するやり方をしているかどうかを評価します。結果ではなく、途中経過の評価です。その時の私の基準を紹介しておきます。

▼ 評価の基準

▼ 後で見直したときに便利のように

- ○×をつけてるか。
- 計算の途中経過が記されているか？
- 間違ったところが修正されているか？
- 模範解答もしっかりと記入されているか？
- 見直しができなくても、書くだけで記憶に残ります。

▼ そのほかの工夫

▼ 答えの確認だけでなく検算法

- どうすれば答えが合っているか？
- 試験中の見直しの手順

▼ 達成感を得るためにやった日や時間も記録しておく

- どれだけコンスタントにできているか
- どれだけ早くできるようになったか
- 記憶に残すには、定期的におこなうことが必要

▼ 見直しの時間短縮のために自分の達成度評価を書く

- ちょろい
- すこし苦労したが自力で解けた
- 計算間違いした
- 自力で解けず、解答をちら見しながら解けた
- 解答を見ても理解できなかった
- これらをテキストに記しておくのも手です。
- 指定した演習書ではこのあたりの配慮がにくいです。

▶ 論文調レポート作成時の注意点